

平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年10月30日

上場会社名 日本デコラックス株式会社
 コード番号 7950 URL <http://www.decoluxe.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月14日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 木村 重夫
 (氏名) 石川 正直
 配当支払開始予定日

TEL 0587-93-2411
 平成26年12月8日

上場取引所 名

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	2,988	2.9	315	△9.7	328	△9.8	209	△2.3
26年3月期第2四半期	2,904	8.6	349	26.1	363	23.9	214	46.4

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	25.76	—
26年3月期第2四半期	26.36	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭		
27年3月期第2四半期	15,287		13,113		85.8	1,613.42		
26年3月期	15,130		12,931		85.5	1,591.02		

(参考)自己資本 27年3月期第2四半期 13,113百万円 26年3月期 12,931百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	8.00	—	8.00	16.00
27年3月期	—	8.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	8.00	16.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,300	0.4	750	0.7	780	0.4	410	4.5	50.44

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
 (注) 詳細は、添付資料P. 3「サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期2Q	8,930,000 株	26年3月期	8,930,000 株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	802,419 株	26年3月期	802,019 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期2Q	8,127,752 株	26年3月期2Q	8,128,352 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第2四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
4. 補足情報	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、政府・日銀による財政・金融政策等を行ったにもかかわらず、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要後の反動で、消費、出荷及び生産の減少を招き、回復の兆しも弱含みであり、景気は足踏みから後退局面へと推移いたしました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

なお、第2四半期会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

<建築材料事業>

化粧板製品では、高圧メラミン化粧板については、店舗・住宅・オフィス家具市場での需要が伸び悩む中、積極的な拡販活動により新規顧客を獲得したこと等により、販売は増加いたしました。また、不燃メラミン化粧板「パニート」は、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動で、新設住宅着工件数は大幅に落ち込んでいるものの、住設機器等の納期は工期の最終段階にあたり売上計上が当期の第1四半期にずれ込んだため販売は好調に推移いたしました。その結果、化粧板製品の売上高は2,050百万円(前年同四半期比104.9%)となりました。電子部品業界向け製品は、業界全般的に本格的な回復基調には至っていないものの、スマートフォンや車載器向けの需要は比較的堅調に推移し、当社のプリント基板用フェノール樹脂積層板の販売は増加いたしました。また、円安等により高騰し続けている原材料・燃料価格の一部を製品価格へ転嫁いたしました。その結果、電子部品業界向け製品の売上高は362百万円(前年同四半期比104.3%)となりました。ケミカルアンカー製品は、打ち込み式接着系アンカーとしては業界初となる『ノンステレンでニオわない』新「PGタイプ」を4月に上市いたしました。しかし、公共投資は増加しているものの、建築現場の人手不足による工期の遅延や、学校耐震の需要が減少したため販売は減少いたしました。その結果、ケミカルアンカー製品の売上高は507百万円(前年同四半期比90.9%)となりました。これらの結果、建築材料事業の売上高は2,921百万円(前年同四半期比102.1%)となりました。

<不動産事業>

不動産事業では、9月に新たに賃貸ビルを取得いたしました。その結果、不動産事業の売上高は67百万円(前年同四半期比152.0%)となりました。

全社の業績といたしましては、売上高は2,988百万円(前年同四半期比102.9%)、経常利益は328百万円(前年同四半期比90.2%)、四半期純利益は209百万円(前年同四半期比97.7%)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べて156百万円増加の15,287百万円となりました。これは主に、有価証券が減少したものの、預金及び有形固定資産が増加したこと等によるものです。負債は前事業年度末に比べて25百万円減少の2,173百万円となりました。これは主に、未払法人税等が減少したこと等によるものです。また、純資産は前事業年度末に比べて181百万円増加の13,113百万円となりました。これは主に、四半期純利益を209百万円計上したこと等によるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績につきましては、平成26年5月15日の「平成26年3月期 決算短信(非連結)」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,486,269	3,828,300
受取手形及び売掛金	2,348,664	2,101,655
有価証券	4,624,914	6,287
商品及び製品	231,487	291,678
仕掛品	51,570	55,777
原材料及び貯蔵品	289,151	309,954
その他	110,982	184,817
流動資産合計	9,143,038	6,778,471
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,471,357	2,748,758
土地	1,834,687	3,092,137
その他(純額)	876,440	835,794
有形固定資産合計	4,182,486	6,676,691
無形固定資産	18,530	17,215
投資その他の資産		
投資有価証券	1,511,269	1,442,177
その他	275,315	372,488
投資その他の資産合計	1,786,585	1,814,666
固定資産合計	5,987,601	8,508,573
資産合計	15,130,640	15,287,045
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	609,535	552,579
電子記録債務	527,363	626,323
未払法人税等	251,826	133,017
引当金	46,122	64,809
その他	414,406	284,768
流動負債合計	1,849,255	1,661,498
固定負債		
役員退職慰労引当金	265,865	262,329
その他	83,705	249,986
固定負債合計	349,571	512,315
負債合計	2,198,826	2,173,814
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,515,383	2,515,383
資本剰余金	2,305,533	2,305,533
利益剰余金	8,465,172	8,609,531
自己株式	△367,831	△368,051
株主資本合計	12,918,256	13,062,396
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	13,557	50,833
評価・換算差額等合計	13,557	50,833
純資産合計	12,931,813	13,113,230
負債純資産合計	15,130,640	15,287,045

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	2,904,679	2,988,731
売上原価	1,810,569	1,943,612
売上総利益	1,094,109	1,045,118
販売費及び一般管理費	744,988	729,688
営業利益	349,121	315,429
営業外収益		
受取利息	12,032	11,838
受取配当金	674	292
為替差益	9,301	1,923
受取賃貸料	-	5,907
その他	850	3,624
営業外収益合計	22,859	23,585
営業外費用		
支払利息	6	6
売上割引	7,970	8,945
賃貸費用	-	1,897
その他	379	40
営業外費用合計	8,355	10,890
経常利益	363,625	328,125
特別利益		
固定資産売却益	58	-
投資有価証券売却益	62	4,868
特別利益合計	120	4,868
特別損失		
固定資産除却損	4,269	48
その他	1,246	-
特別損失合計	5,515	48
税引前四半期純利益	358,229	332,945
法人税等	143,958	123,561
四半期純利益	214,271	209,383

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

4. 補足情報

平成27年3月期第2四半期決算短信参考資料

1. 平成27年3月期第2四半期の業績

(1) 経営成績

(単位：千円未満切捨)

	前第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)		当第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)		前事業年度 (自平成25年4月1日 至平成26年3月31日)	
	金額	前年同期比 (%)	金額	前年同期比 (%)	金額	前年同期比 (%)
売上高	2,904,679	108.6	2,988,731	102.9	6,274,482	111.5
営業利益	349,121	126.1	315,429	90.3	744,479	117.6
経常利益	363,625	123.9	328,125	90.2	777,133	116.6
四半期(当期)純利益	214,271	146.4	209,383	97.7	392,183	122.3
1株当たり四半期(当 期)純利益	26円36銭		25円76銭		48円25銭	

(2) セグメント別売上高

	売上高			コメント
	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減率 (%)	
建築材料事業				
化粧板製品	2,050	68.6	4.9	高圧メラミン化粧板については、店舗・住宅・オフィス家具市場での需要が伸び悩む中、積極的な拡販活動により新規顧客を獲得したこと等により、販売は増加いたしました。また、不燃メラミン化粧板「パニート」は、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動で、新設住宅着工件数は大幅に落ち込んでいるものの、住設機器等の納期は工期の最終段階にあたり売上計上が当期の第1四半期にずれ込んだため販売は好調に推移いたしました。
電子部品業界向け製品	362	12.1	4.3	業界全般的に本格的な回復基調には至っていないものの、スマートフォンや車載器向けの需要は比較的堅調に推移し、当社のプリント基板用フェノール樹脂積層板の販売は増加いたしました。また、円安等により高騰し続けている原材料・燃料価格の一部を製品価格へ転嫁いたしました。
ケミカルアンカー製品	507	17.0	△9.1	打ち込み式接着系アンカーとしては業界初となる『ノンステンでニオわない』新「PGタイプ」を4月に上市いたしました。しかし、公共投資は増加しているものの、建築現場の人手不足による工期の遅延や、学校耐震の需要が減少したため、販売は減少いたしました。
小計	2,921	97.7	2.1	
不動産事業	67	2.3	52.0	9月に新たに賃貸ビルを取得いたしました。
合計	2,988	100.0	2.9	

(3)業績の説明

業績につきましては、売上高売上原価率が65.0%と2.7ポイント悪化いたしました。また、売上高販管費比率が24.4%と1.2ポイント改善した結果、売上高営業利益率は1.5ポイント悪化し10.6%となりました。

(4)設備について

賃貸オフィスビル及び工場の生産設備などに26億54百万円の投資を行いました。なお、当第2四半期累計期間における減価償却費は1億58百万円であります。

(5)配当金について

配当金につきましては、中間配当金として8円、年間配当金16円を予定しております。

(6)財政状況について

総資産152億87百万円、純資産131億13百万円、自己資本比率85.8%、1株当たり純資産1,613円42銭であります。

2. 通期の見通し

(1)経営成績予想

売上高	63億円	対前期増減率	0.4%
営業利益	7億50百万円	〃	0.7%
経常利益	7億80百万円	〃	0.4%
当期純利益	4億10百万円	〃	4.5%

(2)セグメント別売上高

(単位：百万円未満切捨)

	通期予想		
	金額	構成 (%)	増減 (%)
建築材料事業			
化粧板製品	4,400	69.8	0.9
電子部品業界向け製品	700	11.1	2.2
ケミカルアンカー製品	1,000	15.9	△11.5
小計	6,100	96.8	△1.2
不動産事業	200	3.2	99.5
合計	6,300	100.0	0.4

(3)設備投資について

当下半期の設備投資は、主に工場の生産設備等に1億18百万円の投資を予定しております。なお、通期の減価償却費として3億49百万円を予定しております。